

# おもちゃ

# 病院

おもちゃの修理と  
子どもたちに図画工作などの  
指導をして楽しんでいます。

お気軽に自由に

参加していただける方を

募集しています！



## 羽村市おもちゃ病院 ねじまわし

発足 2000年 会員数 17名

登録 羽村市社会教育関係団体

羽村市市民活動団体

羽村市社会福祉協議会

所属 羽村市ボランティア連絡協議会

お問い合わせ 042(554)4665 山口

28年度羽村市市民提案型協働事業として「羽村市おもちゃ病院ねじまわし」が主催した「理科好きになる工作塾」受講者10名の作品が、内外最大のホビー関係イベント「日本ホビーショー2017・ホビー大賞」で“グランプリ”を受賞しました。作品は4月末、会場の東京ビッグサイトで展示され、多くの人たちに感激していただきました。下は、その受賞について新聞に掲載された記事の一つです。作品は、今回の創作作品展でも展示していますのでぜひご覧ください。

# 小中学生のロボ ホビー大賞輝く



羽村市の小中学生10人が工作したロボットが、日本ホビー協会主催の手作り作品コンテスト「ホビー大賞」で最高位に輝いた。地域に住む技術者OBらによる工作教室で取り組んだ作品。自由な発想の機能に加え、楽しみながら作った姿勢が高く評価された。

## 羽村市の10人が工作



①ロボットを作った10人の子どもたち。後列の2人は指導してくれた中学3年生の2人「ねじまわし」提供②ホビー大賞のグランプリを受けた教え子たちの作品を示す山口脩さん。どれも自由な発想を大切にしたい。羽村市栄町1丁目

消しゴムのかすなどをはく「清掃ロボット」、モノをはさんで移動させる「腕と手のロボット」、はさみが動く「クワガタロボット」……。4月にグランプリに選ばれた作品だ。全国から応募のあった約250点の頂点に立った。

昨春秋に地元で企画された「理科好きになる工作塾」に参加した当時小学3年、中学1年の男の子たちが作った。完成から半年たったの受賞の知らせに驚き、受賞作が展示された有明での日本ホビーショーにも駆けつけた。

工作教室を催したのは「羽村市おもちゃ病院ねじまわし」。地元の技術者OBらが2000年に立ち上げたグループで、おもちゃの修理や工作教室を通じて、子どもたちに理科の楽しさを伝え、自分たちも楽しく「そら」という17人の仲間だ。

教室のテーマは「自分だけのロボット作り」。どんなものを作るかは、子どもらの「自分だけ」の発想

## 技術者OBが指導 ■ 自由な発想で楽しく

を尊重した。手本は示さず、会話をしながら設計した。木や紙、金属板、ゴムなどを工具で加工して部品を組み立てた。

自由な発想を重視したのは、2代目院長の山口脩さん(77)ら「ねじまわし」メンバーの思いがある。普段から地域の子どもらを見ていて思った。「学校、塾、運動教室と生活が画一的だ。自分の考えで工夫するような体験を工作を通じてしてもらいたい」

山口さんはコンテストへの応募の際、教室の作業の様子を撮った写真も添えた。表彰式で、「子どもたちが真剣にも生き生きと楽しそうだ」と講評されたのを何よりも喜ぶ。

ねじまわしの目標の一つは「羽村からノーベル賞候補者を出す」。教室の卒業生には、進学の際に技術者を志望した子もいる。山口さんらは受賞をきっかけに、「自分だけの工夫で発想を豊かにしてもらいたい」と個性的に成長することを願う。(山浦正敬)